

未来志創

よし！廣晴ろう！

富山市中学校総合選手権大会お疲れ様でした。結果はどうでしたか？思うような結果を残せた人がいる一方で、悔しい結果だった人もいると思います。自分が顧問を務める野球部はとても悔しい結果となりました。ただ、日ごろから一生懸命に練習に励む人が結果を残すのだということを教わった試合でもありました。また、18日（土）に男子バスケットボール部の試合を観戦しました。ビハインドの状況でも決して諦めない姿を見ることができました。いろいろな先生方から2年生の皆さんの頑張りを聞くこともできました。次なる目標に向けて、今後も頑張っていきましょう！！

さて、今日から前期考査に向けて部活動が停止になります。そこで勉強について一緒に考えてみたいと思います。

勉強も一つの道具です…

世の中には便利な道具がたくさんあります。

たとえば「ナイフ」。山歩きをしていて迷ったり、無人島に一人取り残されてしまったとしても、これ一本あれば、生き残る術がいろいろと見つけられます。もちろんそんな特殊な状況でなくても、どんな家庭にだって包丁やはさみといった刃物は必ずあるし、それらがすべてなくなった場合の不便さなんて想像もできないでしょう。

最近「コンピュータ」という便利な道具だってあります。

自分の部屋に一台置いておけば、世界中の人々とつながることだってできる。今までのビジネスの常識をくつがえし、一台のコンピュータで巨万の富を得ることだって可能になりました。

このように道具というのは、なんらかの不便さを解消するためにこの世に生み出された便利なものはずです。ところが、これらすべての道具には、よくない使い方もあるのです。

「ナイフ」は人を傷つけることができます。

「コンピュータ」だって、全世界の人たちとつながっているだけに、使い方を誤れば多くの人を深く傷つけることになりかねません。

あらゆる道具は、間違った使い方をすると、必ず同じ結果を引き起こすんです。

そう、「人を傷つける」ことになるのです。

こう考えると、道具そのものに「善・悪」があるのではなく、それを使う人次第なんだってことがわかんと思います。

勉強も一つの道具です。

ところが、すべての人に万能の道具というわけではない。そんな道具は存在しないのですから。だから、よく考えて「勉強」という道具を使わないと、人を傷つけたり、自分自身を不幸にすることにだってなりかねない…

あなたはナイフという道具を、その便利さと危険性の両方を知った上で使っていると思うんです。その両方を知っているからこそ、他人や自分を不幸にしたりしないですむ。

ところが、勉強という道具に関してはどうでしょうか？

その便利さはある程度知っているかもしれませんが、危険性について考えたことがある人は少ないんじゃないかと思います。

勉強ができるようになって、できない人を見下すようになる人がいます。

勉強ができるようになるのと引き替えに、挨拶すらろくにしなくなる人がいます。

勉強によって手に入れた知識で満足してしまい、それを自らの人生に活かすのではなく、他人を批判するために使う人がいます。

勉強だけに没頭しすぎて、人の気持ちがわからなくなってしまう人、人とコミュニケーションがとれなくなってしまう人もいます。～中略～

考えるべきは、

『何の目的のために、それを使おうとしているのか』

なのです。

『「手紙屋」蛍雪篇 ～私の受験勉強を変えた十通の手紙～』（喜多川泰）

この『手紙屋』という本は、私自身も考え方を考えるきっかけを与えてくれた一冊です。前期考査に向けて、今の自分にできることを積み重ねていきましょう。